

小学校3年 総合的な学習の時間 学習指導案

「掲示板・ブログやチャットなどの安全な利用方法を知る」

日 時：平成 年 月 日（ ）

場 所：

授業者： 教諭 吉本 仁

1 単元名

「八代を知ろう」

2 単元について

(1) 単元の価値

本校は、八代平野の西部に広がるトマトやメロン栽培が盛んな田園地帯の中にある。本市は、熊本県で2番目の広さを持つので、市全体の概要を知るとは、小学校3年生には難しいと思われる。

本単元は、これまでの身近な地域の学習からさらに市全体へ学習内容を広げ、自ら課題を発見し、本やインターネットにより情報を収集するなど、意欲をもって継続的に学習できる内容であると考えます。そして、調べ学習においてインターネットを利用する際に、情報モラルについての指導も併せて行うこともできる。その中で、これから情報化社会の中で生活していく子どもたちに、身の回りにある情報を正しく利用する力（ルールやマナー）を身につけさせる機会となる。

(2) 児童の実態について（〇〇人）

これまで、「学習米の田植えや稲刈り」「八代養護学校と交流しよう」の学習を行ってきた。農家の方に指導をしてもらい、種まき・田植え・草取り・稲刈りを体験しながら、自然とのふれあいや体験をとおして、農業の大変さ、収穫の喜びを学んだ。また、養護学校との交流で、通常学級や地域における障がいを持った子どもに対する理解を学び、思いやりの心を培う活動をした。

児童が学習初期の段階で持つ知識等は、次のとおりである。

- ・八代市の特産物を知っている。 4つ以上〇〇% 3つ〇〇% ばんぺいゆ・い草等
- ・インターネットを利用して何かを調べたことがある。 ある〇〇% ない〇〇%

(3) 指導にあたって

八代市は、地域イントラネットの導入など全国的に見ても設備普及率が高いうえ、地域SNS（ソーシャルネットワークシステム）の先駆けである「ごろっとやつしろ」が開設されるなど、情報インフラが整っている。そこで、インターネットを駆使して市内の情報を集め学習指導の充実を図る。

情報モラル教育の指導を行うときは、自校のホームページや学校ブログを活用する。また、その具体的指導に当たっては、「ネット社会の歩き方」のコンテンツを利用し、視覚的に児童の理解をサポートする。

(4) 情報モラル教育の視点から

ア 本時は、「モデルカリキュラム」の目標「3 安全への知恵」、項目「e2-2：個人の情報は、他人にもらさない」との関連を重視して展開する。

イ 情報モラルの内容については「関連付け」の観点から、インターネットを利用しての情報収集の学習活動をとおして、情報モラル教育を行う。

ウ 「ネット社会の歩き方（財団法人コンピュータ教育開発センター）」のコンテンツのいくつかを使い、情報社会の倫理や法の理解と遵守及び安全への知恵についても学習する。

(5) 人権教育の視点

ア 自分の考えを、自信を持って発表できるような支持的風土づくりに努める。

イ 他の人の意見も尊重しながら、共に学習しようとする態度を育てる。

ウ インターネットを利用し情報発信をする時、表現や内容が他の人を傷つけていないか判断できる能力を高める。

3 単元の観点別目標

A：課題設定能力	①体験や活動をとおして、自分なりの疑問点に気付く。
B：課題解決能力	①疑問点を解決するにはどうしたらよいか見通しをもち、教師の助言を得ながら解決の筋道を考えようとする。 ②教師の助言を得ながら、解決するための方法や手段がわかる。
C：主体的、創造的に取り組む態度	①課題に対して、自ら進んで取り組もうとする。 ②教科等で身に付けた知識や技能を生かして取り組もうとしている。 ③不明な点は、教師の助言を得ながら、いろいろな方法を積極的に試みている。
D：学び方、考え方の技能と表現力	①疑問点を解決するために、いろいろな調べ方や学び方を工夫している。 ②疑問解決のために、人材を活用し、質問をしようとする。 ③集めた情報などを整理・分類して、どんなことがわかるのか考えようとしている。 ④自分の考えたいことやまとめたことを、相手にわかりやすく伝えるためにはどうしたらよいか考え、工夫している。
E：自己の生き方を考える。	①調査、表現活動をとおして、自分や友達によさに気付こうとしている。 ②学習活動をとおして、自分自身について考えたり、自分にできることはないか考えたりして、できることを取り組もうとしている。

4 指導・評価の計画

次	時	学習活動	指導上の留意点	評価項目（方法）
1	1	課題を知る。 「八代を知ろう」 八代の位置を知る。 八代の特産物を知る。 ※HPの活用	自分たちが住む八代市について、知らないことがたくさんあることを認識させ、自分なりの課題を見つけさせる。	体験や活動をとおして、自分なりの疑問点に気付く。（学習シート）
2	2	八代市の概要を知る。 農業・工業・商業・人口 面積・学校・歴史・その他	児童が自ら見つけた課題をさらに絞り込ませる。	疑問点を解決するために、いろいろな調べ方や学び方を工夫している。（観察） 集めた情報などを整理・分類して、どんなことがわかるのか考えようとしている。（観察）
3	6	コンピュータの基本操作について知る。電源・日本語入力 インターネットを利用して情報を見つける。 調べる。 消防署 大規模商業施設 お菓子工場 博物館 ＜見学旅行・行事＞	機器の操作手順確認 ・電源の入・切 ・日本語入力 ・情報検索 ・検索キーワード 多くの情報の中から、必要な情報を見つけ出すことができたか。	課題に対して、自ら進んで取り組もうとする。（観察・レポート） 教科等で身に付けた知識や技能を生かして取り組もうとしている。（観察）
4	5	見学場所毎にまとめる。（個人） グループでまとめる。 発表会 感想 掲示板（ブログ）を利用する。 情報発信	自分で設定した課題に対する答えを自分の言葉でまとめさせる。 広用紙に調べた場所毎にまとめさせる。 調べたことわかったことを家族や地域の人にも知ってもらうための手段として、掲示板（ブログ）があることを知らせ、情報を発信させる。	調査、表現活動をとおして、自分や友達のよさに気付こうとしている。（発表・レポート） 学習活動をとおして、自分にできることはないか考えたりしている。（観察・レポート）

5 本時の学習 (14 / 14 時間)

(1) 目標

インターネットを利用して、八代市について調べた情報を発信することができる。

(2) 展開

過程	学習活動と主な発問	児童（生徒）の反応	指導上の留意点と評価	備考
導入 5分	①身近なサイトを見る。 ・学校のホームページ 学習課題 調べたことをみんなに伝えよう。	C「学校のホームページ」 C「知らない」	ホームページが学校の予定や出来事を伝えるためにとっても大切な役割を持つことと教育活動の記録になることを知らせる。	HP
展開 25分	②情報活用法を知る。 「Web サイトの情報を活用しよう」 ③信用できるサイトについて知る。「こんな Web サイトに気をつけて」 ④簡単な情報発信の方法を知る。「ブログの有効活用」 ・学校のブログを見て、良い点などを見つけ発表する。 ⑤情報発信時のマナーを知る。「ネットで悪口は要注意」	T「インターネットで見ることができることは全部本当かな。」 C「全部本当だと思う」 C「嘘のこともあると思う」 「勉強の記録や生活の記録を残しておく方法にはどんなものがあるかな。」 ・日記（絵日記） ・ノート 「インターネットで記録を残すときに注意することは何かな。」 ・嘘を書かない。 ・本当の名前を書かない。	学校や役所などからの情報は正しいことが多いが、その他の情報には間違っているものや嘘の情報もあることを具体的な例を出して理解させる。 ブログは、記録を残すにはとても便利だが、一度公開した情報は、誰かがコピーして利用する可能性もあるので、嘘や個人情報などを絶対に出さないことを理解させる。 インターネットで公開された情報は、消すことができないことがあることを理解させる。	PC 学習シート
終末 15分	⑥確かな情報を発信しよう。 ・自分の考えたことなどを書き込む。 ・友達の情報をみて、自分の感想と比べる。 ⑦ 先生の話聞く。	「調べたことや感想を書き込んでみよう。」	日本語入力に慣れていない児童には、ソフトウエアキーボードを使わせる。 評価（記述） A 自分の感想などの情報を発信できる。 B 調べたことを発信できる。	情報発信用サイト

6 モデルカリキュラムの位置づけ

情報モラル	道徳, 各教科・特別活動 他
a2: 発信する情報や情報社会での行動に責任を持つ。	道徳 友達のよさ「たまちゃん, 大すき」 2 - (3) 友達と互いに理解し, 信頼し, 助け合う。
b2: 情報に関する自分や他者の権利を尊重する。	
c2: 情報社会でのルール・マナーを遵守できる。	道徳 真心を込めて「あいさつをすると」 2 - (1) 礼儀の大切さを知り, だれに対しても真心をもって接する。
d2: 情報社会の危険から身を守るとともに, 不適切な情報に対応できる。	道徳 社会のきまりを守る「それは, だれの作ひん」 4 - (1) 約束や社会のきまりを守り, 公德心をもつ。 道徳 働くことの大切さ「公園ボランティア」 4 - (2) 働くことの大切さを知り, 進んでみんなのために働く。
e2: 情報を正しく安全に利用することに努める。	総合 適切なコミュニケーション「掲示板の利用」 ・ 掲示板などのコミュニティサイトを利用する上でのルールやマナーについて理解し, 適切に利用できる。 (本時)
f2: 安全や健康を害するような行動を抑制できる。	
g2: 生活の中で必要となる情報セキュリティの基本を知る。	
h2: 情報社会の一員として, 公共的な意識を持つ。	
i2: 情報社会の一員として, 公共的な意識を持つ。	道徳 温かい家族「ぼくのおばあちゃん」 4 - (3) 父母, 祖父母を敬愛し, 家族みんなで協力し合って楽しい家庭をつくる。